

43 ヨハネ 13 章 21-30 節

※先回はイエス様が弟子たちの足を洗い、『わたしがあなたがたにしたとおりに、あなたがたもするように…』と言われたことからその意味するところを学びました。互いに赦し合い、かばい合い、助け合い、忍び合い、守り合う関係が教会の兄弟姉妹に必要なことを学びました。さて、今日の箇所はその時にも語られた「わたしにかかとをあげ」る者がいる、ということが実行に移されることになる箇所です。

- 1、「内容観察」この箇所を自分の言葉で表現してみましょう。どんなことが記されてありますか？
- 2、(21)で「これらのことを話されたとき、心が騒いだ」とあります。つまり、聖書の預言通り「わたしに向かってかかとをあげ」る者がいると話された後「心が騒いだ」ということですが、それはどのような心境だと思いますか？(イエス様の心境を自分に置き換えて考えてみましょう)

・そしてイエス様ははっきりとこの後、起こることを預言しました。(21節の括弧の中の言葉を書きましょう)

※他の福音書に記されている言葉も読んでみましょう。(マタイ 26:24、マルコ 14:21)

このように言われる者にはなりたくないですね。互いに祈り、支え合いましょう。

- 3、弟子たちは、その裏切るものが誰であるかを知ろうとします。
※この場合、イエス様の右側に座るものが、「最も信頼された者」そこに位置していた者がヨハネ。左側に座るものが、「ゲスト席」そこに位置していたものがユダであったと言われていました。ペテロは向かい側の一番しもべ席にいたと言われていました。ヨハネはこの福音書の中で自分の名前を記していません。ただ(23)「イエスが愛しておられた弟子」と自分のことを記しています。《私たちも自分のことをこのように言えたらいいですね》

・ペテロの合図で、ヨハネがイエス様に「誰のことですか」と尋ねるとイエス様は教えてくれました。(26)

※ところが弟子たちは、ここでイエス様がユダに「あなたがしようとしていることを、すぐしなさい」と言い、ユダが出て行くのを見ながらも全くユダがその裏切り者だと理解するに至ってなかったのです。祭りのために必要なものを買に行ったか、貧しい人々に施しをするために行ったかのようにしか見ていなかったのです。それだけ、イエス様とユダのやり取りには違和感がなかったということが分かります。

- 4、イエス様が渡したパン切れを受け取ったその時にユダにあることが起こりました。(27)

・これと、ヨハネ 13:2 との違いは何だと思えますか？

・イエス様は、何度も何度も「裏切る者」のことについて預言してこられました。そして最後の時にははっきりとユダにそのことを突き付けました。これをあなたは何といいますか？イエス様の御心は何だったのでしょうか？

- 5、イエス様はどのようなお方ですか？